

海外邦人安全対策情報
(ジッダ総領事館：2018年4月～6月)

1 治安情勢

麻薬関連、殺人などの事件につき数多く報道されている。

2 テロ関係

- (1) サウジアラビアの特別刑事裁判所は、イスラエルのためのスパイ行為を行ったとするパレスチナ人2名の裁判を開始した。加えて、彼等はハッジ巡礼期間中のテロ行為も計画していたとされる。2名の内1名は、麻薬の使用、ハッジ巡礼後の不法滞在及び自分自身に関する偽情報を用いたことでも告発されている。
- (2) 6月5日にイエメンのホーシー派民兵がサウジアラビアのヤンブーに向けて弾道ミサイルを発射し、これをサウジアラビアの防空部隊が迎撃している。

3 誘拐・脅迫事件

邦人被害の事件は発生していない。

4 MERS

WHOの報告に基づく当地紙報道によれば、本年1月～8月の期間にサウジアラビア国内で報告されたMERSの症例は108件であり、これは過去5年間の同期間の平均282件を下回るものとなっている。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

イエメンからサウジアラビアに向けて頻繁にミサイルが発射されており、日本企業にとっての懸念として挙げられる。